

第22回 我孫子市放射能対策会議 会議概要

【場 所】 市長応接室

【日 時】 平成24年5月15日（火）13:30～15:00

【出席者】 市長、副市長、教育長、水道局長、総務部長、企画財政部長、市民生活部長、都市部長、建設部長、健康福祉部長、子ども部長、教育委員会総務部長、環境経済部参与、秘書広報課長、教育委員会総務課長、学校教育課長、施設管理課長、道路課長、下水道課長、農政課長、公園緑地課長、手賀沼課長、商工観光課長（代理）、保育課長、子ども支援課長、健康づくり支援課長、水道局工務課長、放射能対策室長

（報告事項）

（1）放射線量測定結果及び放射能に関する対応について（各課）

なし

（2）近隣市の除染実施計画策定状況及び除染の実施状況について（放射能対策室）

- ・ 各市の独自目標としては、野田市では、市内全域を地上5cmで0.23マイクロシーベルトにする。松戸市では、私有地の子どもがいる住宅について、地上50cmで0.23マイクロシーベルト未満にする。我孫子市では、積算線量計の測定による推計値が年間1ミリシーベルト以下になるようにする。という特徴が見られる。
- ・ 除去土壌等の処理・処分の方針は、各市、自区内処理が基本である。自区内で保管出来ないものは仮置き場に保管する。
- ・ 松戸市、我孫子市は「放射能総合計画」を策定、野田市では法定計画（除染実施計画）と独自計画（放射性物質除染計画）を策定するという方針である。
- ・ 除染の実施状況は、公共施設ではかなり進んできている。通学路は、側溝の汚泥を保管する仮置き場を各市確保していく方針。戸建住宅では、流山市で中学生以下の子どもがいる家庭から公募した結果、申請は2,000件を超えた。5月11日から子どもがいない家庭も公募している。松戸市では、小学生以下の子どもがいる家庭で地上50cmの測定値が0.23マイクロシーベルトを超える箇所を除染していく方針。当初予算は10億円である。我孫子市では、6月議会に補正予算として測量調査委託費を提案。7月1日から就学前の子どもがいる家庭を優先に公募していく。9月議会に除染予算を提案する。

（3）農産物の放射性物質検査の公表について（放射能対策室・各課）

- ・ 簡易型放射性物質分析機器ソフトのバージョンアップにより、検体品目ごとに検出限界値が表示されるようになったため、農産物等検査結果の公表の仕方を変更する必要がある。
- ・ 「検出せず」の場合、検査結果表の測定欄にカッコ書きで検出限界値を表示する。検

出限界値は品目の重さや当日のバックグラウンド等により計算される。

- ・ 学校給食では、検出限界値が低くなることにより、セシウムが検出される食材が増え対応は厳しくなると思われる。一食まるごと検査では、検出された日の前後 10 日間の再測定をすることになり、目標検体数をこなすのは難しくなる。
- ・ 検出限界値が下がったことにより、使用できる食材が限られれば、子ども達の栄養が偏ることによる健康被害も想定される。
- ・ 今後の公表の仕方については、農政課、学校教育課のそれぞれの測定器でいろいろな検体品目の試行検査を行ったうえで、教育委員会・保育園・農政課・放射能対策室で協議する。

(決定事項)

(4) 放射能対策総合計画骨子案について (放射能対策室)

- ・ 「我孫子市放射能対策総合計画」は、現在まで各分野にまたがる放射能対策を整理し、総合的・計画的に推進するものである。
- ・ 放射能対策を「住環境」「食」「健康」の 3 つの柱に分け、これまでの取り組みをベースとして項目化し、整理していく。
- ・ 計画期間について、平成 23 年 4 月～となっているが、平成 24 年 9 月～にしたほうがよい。
- ・ ③健康を守る (2) 子どもが受ける年間の放射線量の推計は、8 月いっぱいでは 365 日となるため、確定値を公表する。引き続き、測定はしていく。
- ・ 放射能対策として、測定、検査をしていくということだが、結果に対しての対策も明記するのか。検討が必要と思われる。
- ・ 市政ふれあい懇談会での市民の意見や、各課の意見を反映していく。

(5) 自治会等の行う除染活動への支援要領案について (放射能対策室)

- ・ 除染後の汚染土壌は、原則自区内処理するというのを支援要領に記載した方がよい。
- ・ 報告書の中に、埋設した場所を記載して提出するようにした方がよい。
- ・ 道路側溝の汚泥は、現時点では乾いた土のみ回収している。建屋が完成する等、状況が変われば回収の方針も変わっていくと思われる。除染アドバイザーには、方針に沿った的確な指導をしてもらうよう打ち合わせしていく。

(その他)

(健康支援課)

- ・ ホールボディカウンターの助成申請者は 5 月 11 日時点で 20 名 (妊婦 2 名、乳幼児 0 名、幼児 10 名、小学生 6 名、中学生 2 名) で、いずれも不検出であった。6 月 1 日の広報で発表する予定。測定結果は問題のないものと思われるが、将来的な影響についての説明は必要と思われる。

- ・ 次回会議は、6月4日 15:00 から行う。